

第 10 事業年度
事業計画書

自 令和 4年4月 1日
至 令和 5年3月31日

一般社団法人 十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会

〒080-0801

帯広市東1条南2丁目1番地

TEL 0155 (25) 0722 FAX 0155 (25) 0725

<http://www.sakemasu.net//>

E-mail : sakemasu-obihiro@nifty.com

目 次

令和4年度 基本方針-----	1
事業計画	
1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業-----	2
(1) 親魚捕獲採卵事業	
(2) ふ化放流事業	
2. 増殖施設、捕獲施設整備事業-----	2
3. さけ・ます放流体制転換調査-----	2～3
(1) 増殖戦略実証調査	
(2) 回帰親魚調査	
4. さけ・ます等栽培対象資源対策事業-----	3
5. 北海道委託事業-----	3
(1) 秋サケ資源回復加速化業務委託	
(2) さけ資源の増殖と効率的管理に関する調査業務委託	
(3) 秋さけ資源回帰向上対策事業（地域づくり総合交付金）	
6. ふ化放流助成事業-----	3
7. さけます資源保護対策・研修活動事業-----	4
(1) 試験調査事業	
(2) 教育研修事業	
(3) 密漁防止対策事業	
(4) 河川環境保全対策事業	
8. 受入並びに負担事業-----	4
(1) ふ化放流助成事業（基準事業費）	
(2) 秋さけ資源増大対策資金	
収支予算書-----	5～8
令和4年度会費の額及び徴収方法-----	9
表－1 令和4年度サケ人工ふ化放流計画-----	10

令和4年度 基本方針

令和3年度の北海道の秋サケ漁獲量は、3年連続5万トンを割り込む結果となりましたが、漁獲金額において魚価の高騰により415億円と3年ぶりに400億円を上回る結果となりました。

当管内の秋サケの定置漁業は操業開始から9月中旬まで前年度の半分の漁獲で推移し苦戦をしいられる状況となりました。9月下旬にさしかかった頃には道東沖の赤潮の大量発生という事態となり、サケのみならずその他の水産物に大きな影響をもたらしました。

この影響を受け、最終的に漁獲は69万尾余りの2,240トンと、昨年よりも240トン少ない結果で終漁しています。一方漁獲金額では、魚価の高騰により昨年度より1億円多い17億円と、事業計画の16億円を上回る結果となりました。

河川における親魚捕獲については赤潮の影響を大きく受け、9月20日以降の捕獲尾数が皆無な状況となり、この状況が時期終漁まで改善されず、最終的に計画の25.7%にとどまる6万尾あまりと過去最低を記録しました。

種卵確保につきましても、大幅に不足し、エリモ以東海区さけ定置漁業調整協議会の協力を得まして、定置操業の自主規制を行い、親魚確保に努めたほか、北見・日本海、日高管内から種卵を供給して頂きましたが、最終的に40.5%と危機的結果となりました。対応して頂きました関係機関、各地区の漁業者の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

近年の大幅な来遊数の落ち込みなどと、各地区組織の財務状況は一段と悪化しており、令和3年度までの支援事業費制度については、第5期増殖体制検討協議会により増殖体制の転換、抜本的な見直しがかかり、令和4年度から支援事業費が大幅に減額されるという危機的な事態に追い込まれております。

このことから事業計画について更なる削減、収入の面でも最低水準の水揚げを想定して行く必要があります。前年度と同レベルでの資源水準を想定し、定置の水揚げ計画を18億円と設定させていただき、効率的な事業の推進に努めて参ります。

秋サケ定置漁業の漁獲高割負担金につきましては増殖体制の転換により特別負担金を2%から更に3%増の11.9%お願いするものであります。

また、全般的にふ化施設の老朽化が進んで来ておりますが、経営体質の強化や、余剰財源の確保が急務となっております。施設整備の積立につきましては例年通り1.5%をお願いし、緊急を要する維持補修のみにとどめ、財源管理しながら効果的な施設整備に努めて参ります。

皆様方の漁業経営は非常に厳しいものと重々承知しておりますが、是非とも御理解を賜りたいと思っております。これまで以上に経費削減を念頭において慎重な財務運営をいたして参る所存でございます。管内の定置漁業を巡っては難しい状況が続いておりますが、こうした現状をしっかりと認識し、最大限の努力をしていく所存でありますので、引き続き会員皆様の深いご理解、ご協力をお願いいたします。

事業計画

1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業

道が策定した令和4年度さけ・ます人工ふ化放流計画に基づき、捕獲採卵事業河川5河川と補完河川4河川において、期別の採卵計画に沿って良質卵の確保を目標に事業を実施して参ります。

(1) 親魚捕獲採卵事業

事業河川である十勝川、釧路川、広尾川、楽古川、幌戸川の捕獲場において、東部地区84,480尾、西部地区144,000尾、合わせて228,480尾の親魚確保を目指します。補完河川・非捕獲河川については地元漁協と連携し、種卵不足時に対応できる体制を整えて参ります。余剰親魚等の売却につきましては、北海道との業務委託契約に基づき売却処理し、売却代は本会の運営財源と一部を道増協への親魚等売却負担金として納入します。

(2) ふ化放流事業（表－1）

十勝釧路管内21カ所のふ化放流施設において、10名の技術職員により健苗育成と放流手法の改善を実施し、資源回復に向けて回帰率の向上に努めます。地場卵2億964万粒から東部地区6,585万尾、西部地区1億1,650万尾、全体で1億8,235万尾の放流を目指して参ります。この内、二次飼育、海中飼育については、各漁協及びさけ定置部会の協力のもと実施します。

[令和4年度 さけ捕獲採卵・ふ化放流計画概略]

海区	地区	期別	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	稚魚放流数 (千尾)	内海中飼育等 放流数(千尾)	
エリモ以東	東部	前期	35,110	32,250	27,330	2,760	
		中期	36,850	33,850	28,760	2,940	
		後期	12,520	11,500	9,760	0	
		計	84,480	77,600	65,850	5,700	
	西部	前期	58,700	53,840	47,380	0	
		中期	70,300	64,450	56,950	2,000	
		後期	15,000	13,750	12,170	0	
		計	144,000	132,040	116,500	2,000	
	合計			228,480	209,640	182,350	7,700

2. 増殖施設、捕獲施設整備事業

本年度について施設整備は緊急を要する補修修繕のみ行っていきます。

3. さけ・ます放流体制緊急転換事業

事業主体：(公社)北海道さけ・ます増殖事業協会

(1) 増殖戦略実証調査

近年の海洋環境の変化に耐えうる、より健苗な稚魚を放流し、稚魚の生残率を高めるため、更別ふ化場で生産するさけ稚魚8,400千尾に標識を付け、増殖・回帰効果を検証する事業を行っていきます。

(2) 回帰親魚調査

平成27年度から広尾ふ化場で実施してきた放流手法改良調査において放流した稚魚の回帰効率を把握するため、広尾川に回帰した親魚の耳石を採取し、放流稚魚の耳石標識との照合と分析を行い、標識魚の回帰効果を調査します。

4. さけ・ます等栽培対象資源対策事業（内『さけ・ます不漁対策事業』）

事業主体：(国研)水産研究・教育機構

放流後の河川や沿岸での減耗回避技術開発を図るため、釧路川において耳石標識を施した稚魚の放流と追跡調査を水産資源研究所（旧北水研）、内水試、釧定協と連携して行います。

5. 北海道委託事業

(1) 秋サケ資源回復加速化業務委託

遊泳力の強化や飢餓耐性の向上が期待できるDHAを添加した飼料を放流前7日間の期間に秋サケ稚魚に給餌し遊泳力、飢餓耐性を調査、複数のふ化場で実施します。

事業主体：北海道

(2) さけ資源の増殖と効率的管理に関する調査業務委託

さけ稚魚の有効な放流適期を解明するため、沿岸水温の観測や放流直前の稚魚状態と回帰状況を把握し、適期放流の時期を検証する。

事業主体：北海道資源管理協議会

(3) 秋さけ資源回帰向上対策事業（地域づくり総合交付金）

海洋環境の変化による来遊減少や、現在のふ化放流の手法から、変化に対応した手法への転換が急務となっており、新たな取り組みを実施し秋さけ資源の造成に取り組む。（釧路地区）

事業主体：北海道釧路総合振興局

6. ふ化放流助成事業

各漁協、部会で実施している河川での稚魚二次飼育事業費に対して以下の通り助成を致します。

釧路地区

単位：千円

幌 戸	太 田	チョロベツ	庶 路	茶 路	音 別	小 計
7,600	0	4,600	1,000	10,200	2,100	25,500

十勝地区

更 生	小紋別第1	小紋別第2	大 樹	小 計	合計
6,000	1,000	1,900	600	9,500	35,000

7. さけ・ます資源保護対策・研修活動事業

(1) 試験調査事業

十勝地区、釧路地区水産技術普及指導所と連携し、沿岸水温、プランクトン、潮流等の沿岸環境調査を実施して、タイミングを図りながら適期放流を行います。

(2) 教育研修事業

水産研究所、内水試、道増協及び関係機関が主催する技術研修会等に積極的に参加し、ふ化放流技術の向上を図ります。

(3) 密漁防止対策事業

管内の主要捕獲河川において、関係機関のご協力を得て密漁監視パトロールを実施して、密漁防止に努めます。

(4) 河川環境保全対策事業

管内における増殖河川の環境調査及び汚濁防止のための監視活動及び、水質保全のための水質調査を実施します。水質事故があった場合には関係機関と連携し解決に向け迅速に対応します。その他、開発建設部並びに建設管理部が行う河川工事について、関係機関との協力体制のもと取り進めて参ります。

8. 受入並びに負担事業

(1) ふ化放流助成事業（支援事業費）

道増協が実施する増殖事業支援事業費体制に対して、漁獲高割負担金を応分額支出する一方で、ふ化放流事業に対して助成金を受け入れます。

(2) 秋さけ資源増大対策資金

本会が実施する増殖施設整備事業にあてる目的のエリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会からの助成について、資金運用管理規程に基づき適正に管理して参ります。

収支予算書

(資金ベース)

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	0	0	0	
特定資産利息収入	0	0	0	
②会費収入	248,600	175,800	72,800	
会員会費収入	400	400	0	
漁獲高割会費収入(秋)	214,200	142,400	71,800	水揚げ18億11.9%
漁獲高割会費収入(積)	27,000	24,000	3,000	水揚げ18億1.5%
漁獲高割会費収入(春)	7,000	9,000	△ 2,000	
漁獲高割会費収入(特)	0	0	0	
③事業収入	70,540	61,740	8,800	
親魚捕獲採卵事業収入	21,000	21,000	0	
親魚等売却収入	(20,000)	(20,000)	(0)	
補完河川親魚売却収入	(1,000)	(1,000)	(0)	
道増協事業稚魚売却収入	29,400	21,000	8,400	
業務受託収入	20,140	19,740	400	
道増協業務受託収入	(2,140)	(2,140)	(0)	
北海道業務受託収入	(5,300)	(5,100)	(200)	
水産庁業務受託収入	(12,700)	(12,500)	(200)	
④補助金等収入	104,925	217,888	△ 112,963	
地方公共団体補助金	2,500	0	2,500	
道増協助成金収入	102,425	217,888	△ 115,463	
増殖事業支援事業費収入	(102,425)	(217,888)	(△115,463)	
増殖施設整備等助成事業助成金収入	(0)	(0)	(0)	
増殖施設整備等補助金	(0)	(0)	(0)	
⑤受取負担金収入	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
太平洋延縄漁業負担金	(0)	(0)	(0)	
⑥雑収入	170	290	△ 120	
受取利息収入	0	0	0	
職員住宅料収入	120	240	△ 120	
雑収入	50	50	0	
事業活動収入合計	424,235	455,718	△ 31,483	

科	目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
2. 事業活動支出					
①事業費支出		326,800	360,080	△ 33,280	
	職員給料手当支出	55,400	54,900	500	
	臨時労務費支出	30,000	35,000	△ 5,000	
	法定福利費支出	14,100	12,580	1,520	
	福利厚生費支出	2,500	3,000	△ 500	
	会議費支出	100	100	0	
	旅費交通費支出	1,000	1,800	△ 800	
	通信費支出	2,200	2,300	△ 100	
	備品費支出	500	800	△ 300	
	消耗品費支出	16,500	17,000	△ 500	
	餌料費支出	20,000	26,300	△ 6,300	
	施設費支出	0	0	0	
	施設調査費支出	1,300	1,500	△ 200	
	補修費支出	13,000	15,000	△ 2,000	
	燃料費支出	12,000	12,000	0	
	光熱水料費支出	5,000	5,300	△ 300	
	動力費支出	48,000	60,000	△ 12,000	
	賃借料支出	20,000	21,000	△ 1,000	
	車輛費支出	23,000	29,500	△ 6,500	
	親魚販売諸費用支出	500	1,000	△ 500	
	租税公課支出	6,000	6,500	△ 500	
	負担金支出	50,700	49,500	1,200	
	ふ化放流事業負担金支出	(35,000)	(36,000)	(△1,000)	
	捕獲事業負担金支出	(1,000)	(1,000)	(0)	
	道増協事業負担金支出	(14,700)	(10,500)	(4,200)	道増協事業稚魚売却収入1/2
	道増協施設等改良支援負担金支出	(0)	(2,000)	(△2,000)	廃止
	委託費支出	4,500	4,500	0	
	雑費支出	500	500	0	

科	目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
②管理費支出		88,845	82,949	5,896	
	役員報酬支出	6,000	6,000	0	
	給料手当支出	9,800	8,600	1,200	
	法定福利費支出	2,600	2,640	△ 40	
	福利厚生費支出	400	400	0	
	会議費支出	900	1,000	△ 100	
	旅費交通費支出	2,500	3,000	△ 500	
	通信運搬費支出	550	500	50	
	備品費支出	50	0	50	
	消耗品支出	500	500	0	
	図書購入支出	70	70	0	
	修繕費支出	600	600	0	
	印刷費支出	120	150	△ 30	
	燃料費支出	650	550	100	
	光熱水料費支出	550	600	△ 50	
	車輛費支出	850	800	50	
	賃貸料支出	1,600	1,800	△ 200	
	広告宣伝費支出	100	100	0	
	保険料支出	3,300	4,000	△ 700	
	租税公課支出	2,500	2,500	0	
	負担金支出	53,605	47,530	6,075	
	道増協漁獲高割負担金支出	(53,500)	(45,000)	(8,500)	
	増殖施設有償貸付負担金支出	(95)	(180)	(△85)	
	親魚等売却負担金支出	(0)	(1,500)	(△1,500)	廃止
	全国組織負担金支出	(0)	(840)	(△840)	廃止
	支払い負担金支出	(10)	(10)	(0)	
	支払利息支出	700	700	0	
	交際費支出	400	400	0	
	雑支出	500	509	△ 9	
	事業活動支出計	415,645	443,029	△ 27,384	
	事業活動収支差額	8,590	12,689	△ 4,099	

II 投資活動収支の部	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 投資活動収入				
①特定資産取崩収入	0	5,540	△ 5,540	
特別準備金取崩収入	0	0	0	
施設整備積立金取崩収入	0	5,540	△ 5,540	
(自己積立口取崩収入)	(0)	(0)	(0)	
(漁獲高割会費口取崩収入)	(0)	(5,540)	(△5,540)	
役員退任慰労金引当資産取崩収入	0	0	0	
②固定資産売却収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	5,540	△ 5,540	
2. 投資活動支出				
①特定資産取得支出	8,590	7,689	901	
施設整備積立資産取得支出	0	0	0	
(自己積立口取得支出)	(0)	(0)	(0)	
(漁獲高割会費口取得支出)	(0)	(0)	(0)	
退職給付引当資産取得支出	7,840	7,689	151	
役員退任慰労金引当資産取得支出	750	0	750	
②固定資産取得支出	0	0	0	
土地購入支出	0	0	0	
建物建設(購入・取壊)支出	0	0	0	
構築物建設支出	0	0	0	
建物附属設備建設支出	0	0	0	
車輛運搬具購入支出	0	0	0	
機械装置購入支出	0	0	0	
工具器具備品購入支出	0	0	0	
投資活動支出計	8,590	7,689	901	
投資活動収支差額	△ 8,590	△ 2,149	△ 6,441	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入	100,000	100,000	0	
短期借入金収入	100,000	100,000	0	
長期借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	100,000	100,000	0	
2. 財務活動支出				
①借入金返済支出	100,000	110,540	△ 10,540	
短期借入金返済支出	100,000	100,000	0	
長期借入金返済支出	0	10,540	△ 10,540	
財務活動支出計	100,000	110,540	△ 10,540	
財務活動収支差額	0	△ 10,540	10,540	
IV 予備支出				
当期収支差額	0	0	0	

令和4年度会費の額及び徴収方法

1. 会費の額

(1) 定額会費

10漁業協同組合及び10市町村の会員に対して2万円の負担をお願い致します。

(2) 春さけ定置漁業会費

漁獲金額（消費税控除後）の2.0%とする。

会費は8月31日までに納入願います。

(3) 秋さけ定置漁業会員会費

① 漁獲金額（消費税控除後）の11.9%とする。

※秋さけ定置漁獲高割会費6.9%+特別会費5.0%

② 漁獲金額（消費税控除後）の1.5%を施設整備のための積立とする。

(4) 特別採捕事業負担金（小定置）

① 漁獲金額（消費税控除後）の5.0%とする

② 漁獲金額（消費税控除後）の1.5%を施設整備のための積立とする。

(5) 賛助会員会費

免除とする。

2. 入会金

新規に入会するものは2万円を納入する。

3. 会費の納入時期

事業の運営をスムーズに実施するため、原則として毎月水揚げ分の会費は、毎月10日までに納入願います。

表-1

令和4年度サケ人工ふ化放流計画:全体(案)

(一社)十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会

海区	地区	振興局	捕獲場 ()は補完河川	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		国への 供給卵数 (千粒)	収容場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備考
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)			
えりも 以東	東部	根室	幌戸	2,700	2,500				幌戸	1,500	1,260	美留和	1,500	◎昆布盛 ◎三里浜 ◎沖根婦漁港	500 500 500	
												芦別	1,900	幌戸	3,160	
		(藻散布)	(別寒辺牛)	オソツベツ	910	◎霧多布港湾沖	2,100									
					芦別	1,190										
				オソツベツ	570	新川	570									
				美留和	1,000	藻散布	2,050									
				オソツベツ	350											
				芦別	700											
				オソツベツ	700	◎藻散布港湾	700									
				美留和	2,140	別寒辺牛	2,000									
	オソツベツ	440	末広川	580												
	オソツベツ	500	旧釧路川	500												
	美留和	2,800	◎老者舞漁港 チヨロベツ ◎昆布森漁港	700 1,400 700												
	釧路	81,780	75,100			10,100	美留和	19,470	16,380				釧路	41,030		
							オソツベツ	17,370	14,580							
							※鶴居	10,100	9,100							
							芦別	18,590	15,670							
							茶路	10,570	8,860	茶路	3,160	庶路 茶路	3,160 5,700			
	地区計			84,480	77,600	0	0	10,100		77,600	65,850		17,860	65,850		
	西部	釧路	音別							音別	10,240	9,000	幕別	1,500	厚内	1,500
札内													3,000	新川 モウド ◎厚内漁港	500 500 2,000	
十勝		幕別 千代田	112,000	102,720			17,000	更別第1	12,490	10,990						
								※十勝	17,000	15,300						
								幕別	27,060	23,810						
								札内	27,510	24,200						
								更生	5,610	4,930						
								小紋別	2,810	2,470						
								更別第1	3,070	当縁						1,700
								幕別	1,800	歴舟						8,100
更別第1	2,430	小紋別	6,900													
幕別	2,000															
楽古 広尾	2,000 30,000	1,870 27,450					広尾	29,320	25,800	広尾	8,400	豊似	3,000			
												楽古	3,400			
												広尾	17,400			
												音調津	2,000			
地区計			144,000	132,040	0	0	17,000		132,040	116,500		22,200	116,500			
海区計			228,480	209,640	0	0	27,100		209,640	182,350		40,060	182,350			

※(国研)水産研究・教育機構水産資源研究所

稚魚生産率84%、捕獲親魚の♀比45%、♀使用率90.0%、1尾当平均採卵数2,300粒
係数1.089 * 収容卵数 = 捕獲尾数

◎は海中飼育

令和3年度ベニザケ人工ふ化放流計画(稚魚生産)

海区	地区	振興局	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		センターへの 供給卵数 (千粒)	収容場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備考
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)			
		釧路	釧路	※1	60	60			※2 鶴居	60	50			釧路	50	
地区計				60	60			60		60	50				50	
海区計				60	60			60		60	50				50	

※1 捕獲数策定指標 ♀比55% ♀使用率75% 1尾当平均採卵数2,100千粒

※2 ふ化場、幼魚生産場の※は(国研)水産研究・教育機構水産資源研究所